

「第4回太平洋・島サミット」開催

17の国と地域が参加し、太平洋諸島の開発や環境問題について話し合う第4回日本・大太平洋諸島フォーラム首脳会議「太平洋・島サミット」が5月26、27日の両日、名護市の万国津梁館で開かれ、小泉総理をはじめ、オーストラリアやパプアニューギニアなど各国首脳らが来県しました（沖縄での開催は、3年前に引き続き2度目）。

また、会議と併せて行われた「夫人プログラム」や「県民との交流会」なども好評で、各国首脳らは、リラックスで沖縄での滞在を楽しんでいました。



小泉総理と共同議長を務めたパプアニューギニアのマイケル・ソマリ首相（左）



首脳会議

開会式では、小泉総理の開会あいさつ後、稲嶺知事が地元（開催地）を代表して「沖縄県は島しょ地域の課題を検討する場として最適。交流や協力を推進し、太平洋・平和の交流拠点を目指して歩んでいきたい」と歓迎のあいさつをしました。

また、二日間にわたる首脳会議の成果をまとめた宣言「沖縄パートナーシップ」が採択され、今後の我が国と太平洋地域との交流や協力の方針などが確認されました。



夫人プログラム

会議の間、首脳夫人らに沖縄の癒しと文化を体験してもらおうと「かなたラソ沖縄」（宜野座村）と「むら咲むら」（読谷村）にご案内しました。「かなたラソ沖縄」では、海水ジャグジーでの足湯やリフレクソロジー、沖縄コスメなどを体験。また、「むら咲むら」では、琉装での記念撮影、紅型や漆喰シーサーの色付けなどを行い、沖縄を満喫していただきました。



県知事主催昼食会



会議終了後、おもてなしの気持ちを表し、親睦を深めるため、知事主催の昼食会が開かれました。

県内からは、海外協力隊、大学や沖縄国際センターで学ぶ留学生、研修員など太平洋島しょ国の関係者が出席。各国首脳ご夫妻らと楽しく懇談しました。

稲嶺知事は「沖縄のぬちぐすい料理を楽しんでください」とあいさつ。泡盛カクテルで乾杯するなど、終始和やかな雰囲気でした。

子ども達との交流

那覇市「ぶんかテンプス館」では、児童との交流会も行われました。小泉総理や各国首脳らが会場に訪れると、小祿南小学校児童がマーチングで歓迎。



交流会では、壺屋小学校児童が手作りの壺屋焼き（湯飲みとお皿）で「さんびん茶」と「ちんすこう」を振る舞ったり、三線演奏に合わせて「安里屋ユンタ」を歌って交流しました。小泉総理ら各国首脳は、同館四階で開かれていた「太平洋・島子ども環境サミット」にも参加。太平洋島しょ国や県内離島の子どもの意見交換や記念撮影などが行われました。



お問い合わせ 県交流推進課 TEL:098-866-2479 FAX:098-869-9073